

1 協会事業

国際交流・協力ネットワーク
会議を開催しました
総合防災訓練に参加しました

2 Global View

フランス特集

4 交流の広場

広がる国際交流
～境町の取り組み最前線～
わが町の外国人リーダー
Young Eyes
Across Culture

6 地球だより

第二の故郷インド

県だより

外国クルーズ船が本県に
初めて寄港します!

7 For You

お知らせ

8 Said & Did

CONTENTS



国際交流・協力ネットワーク会議を開催しました

7月13日(金)、茨城県民文化センター集会室において、県内の市町村、市町村国際交流協会、民間国際交流・協力団体を対象に、研修、相互連携、及び情報交換を目的とした平成30年度国際交流・協力ネットワーク会議を開催し、107名の方にご参加いただきました。

午前の全体会では、近年、多文化共生の形が外国人支援から外国人住民の力を活かした取組みに変化しつつある現状を踏まえ、明治大学国際日本学部教授の山脇啓造氏に「多文化共生社会に向けてーグローバル化と地方創生の観点から」と題し、基調講演をいただきました。

午後は、3つの分科会に分かれて各テーマについて事例発表、講義を行いました。

第1分科会は、フランスとカナダの多文化共生の現状、取組み、課題等について、それぞれの国出身の県国際交流員が講義を行いました。



第2分科会では、ブルガリア共和国シリストラ市、フィリピン共和国バコール市と友好交流協定を結んだ桜川市と、東京オリンピックホストタウン交流事業等を行っている龍ヶ崎市に、国際交流活動の事例などをお話しいただき、その後参加者と情報交換を行いました。第3分科会では、東京都におけるボランティア日本語教室の課題と東京日本語ボランティアネットワーク(TNVN)の取組みについて、TNVN事務局長よりお話しいただきました。

この会議が、参加者の皆さんの今後の活動の進展やネットワークづくりの良い機会となれば幸いです。

総合防災訓練に参加しました

8月11日(土)カシマサッカースタジアムA、B駐車場他において茨城県・鹿嶋市総合防災訓練が実施されました。

当協会では、外国人の皆さんに日本の防災知識を深めていただくと共に、災害時語学サポーターの災害情報通訳などの研修も含め訓練に参加しました。地元の鹿嶋市国際交流協会のほか阿見町国際交流協会からも参加協力をいただきました。鹿嶋市や神栖市からの現地集合の方に加え、水戸からつくばを経由して貸切バスで会場入りし、今回は総勢約50名(外国人27名)で参加しました。

主会場では放送局での多言語放送、広報車での多言語避難勧告、衝突事故車両からの外国人救出訓練などに参

加しました。また、避難所ではDPAT(災害派遣精神医療チーム)対応訓練に参加しました。

当協会展示テントでは災害時マニュアル、防災グッズの説明、展示・体験エリアでは心肺蘇生・AED訓練、災害用伝言ダイヤル、炊き出しの試食等を行いました。

近年豪雨や地震による災害が頻発しています。日ごろより地域で実施される防災訓練にはまわりの外国人の皆さんと一緒に参加し、災害時の安全・安心のための備えとしてはいかがでしょうか。



フ ラ ン ス 特 集

2018年は日本とフランスの友好160周年にあたります。

フランスは芸術や食の魅力などで多くの皆さんが一度は行ってみたいと思う国ではないでしょうか。今回は、19年ぶりに復活した茨城県とフランス・エソンヌ県との自治体交流や、今年本県に着任したフランス人CIR（県国際交流員）の現地おすすめスポット、フランス文化交流イベントなどについてリポートします。



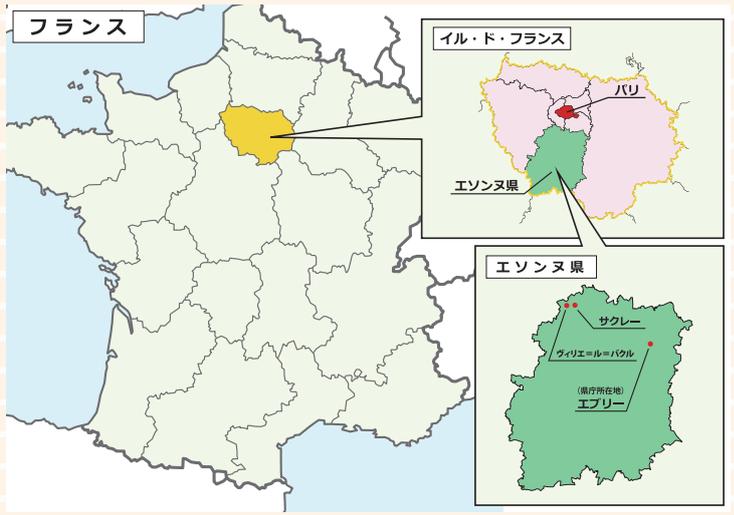
協定書に調印し、握手を交わす大井川知事とGros副議長

茨城県とフランス共和国・エソンヌ県との間で、19年ぶりに交流が再開しました!!

平成30年10月6日、茨城県は、フランス共和国・エソンヌ県と友好提携に関する協定書を締結し、19年ぶりに交流を再開しました。

両県はともに首都近郊にありながら、農業県であり、国内有数の科学技術都市を有するなど、多くの共通点があります。また、エソンヌ県には、画家の藤田嗣治が終の住処とした「メゾン・アトリエ・フジタ」が所在し、本県出身の妻・君代夫人がこのアトリエをエソンヌ県に寄贈するなど縁も深いです。

今回、エソンヌ県のGros県議会副議長が議長の代理人として来県し、協定書の調印式が行われました。大井川知事は「文化・観光・教育、地域発展といった様々な分野で、交流・協力関係を深め、継続的なパートナーシップを構築したい」、Gros副議長は「茨城県の特徴や魅力を理解するとともに、両県の輝く社会と地域の魅力を発展させるため、両県の交流・協力関係が継続することを祈る」とそれぞれ挨拶し、大井川知事とGros副議長は、笑顔でがっしりと握手を交わしました。



偕楽園を視察するエソンヌ県一行

今後は、具体的な交流推進計画を作成し、この計画に基づき、持続可能なパートナーシップを構築してまいります。

エソンヌ県の一行は、ひたち海浜公園や弘道館・偕楽園、JAXAや県立笠間陶芸大学校などを視察しました。偕楽園の好文亭から千波湖畔を眺めた際は「エソンヌ県にある『ドメヌ ドゥ シャマランド』（17世紀の古城）から眺める景色と似ている」、つくば市内を視察中には「サクレー地区にとっても似ている」といった感想がありました。また、エソンヌ県内で茨城県の文化や歴史、特産品等を紹介するイベントが開催できないかといった様々な提案がありました。



県立陶芸大学校で、笠間焼の作品を鑑賞するエソンヌ県一行

旅行や書物からでは知り得ない フランスの文化に触れてみませんか!!

茨城フランス文化スポーツ交流協会では、フランス・エソンヌ県をはじめ広くフランスとの間で、幅広い分野にわたり友好交流を積極的に推進しています。

その中で、茨城県のフランス人国際交流員(ローラ・ジャン氏)が、様々な切り口からフランスの文化を紹介する「フランス文化講座」を開催しています。

皆様のご参加をお待ちしています。



ローラ・ジャン講師による講義の様子

また、9月には、茨城県にお住まいのフランス人の方々を招待し、県民の皆さまと楽しく交流していただく「つくば交流会」を開催しました。当日は、54名の方にご参加いただき、筑波大学管弦楽団有志による弦楽演奏を聴きながら、和やかな雰囲気の中で、楽しく歓談がなされ、交流の輪を広げることができました。

フランス文化講座のご案内

- 日時及びテーマ(予定) 18:30~20:00
11月13日(火)「フランスの映画」
12月18日(火)「フランスの芸術」
1月 8日(火)「パリの歴史」
- 場 所 (公財)茨城県国際交流協会 研修室
- 参加費 会 員:無料
会員以外:500円
- 申込先 茨城県県民生活環境部国際交流課
(TEL:029-301-2862)

私の おすすめ スポット



エッフェル塔

茨城県国際交流員
ローラ・ジャン

フランスの一番有名な象徴といえば、エッフェル塔に違いありません。首都パリを代表するものとして世界中に知られていて、毎年観光客が数多く訪ねるところです。2017年の取材によれば、230万人の観光客がパリを訪ねたと

いいます。なぜ、エッフェル塔は非常に人気があるのでしょうか。まず、やはり、エッフェル塔の形に、特別な魅力があると言えるでしょう。鉄の梁で、金属産業の傑作としてみられています。もちろん、エッフェル塔は見た目だけではなく、中にもその周りにも、色々な面白いところがあるので、それを見逃してはいけません。例えば、エッフェル塔に登ったら、景色を見たり、レストランで食事をしたり、お土産を買ったりすることができます。お勧めの場所はシャンパンバーとマカロンバーですね。恋人や友達や家族とともに行くと、絶対にいい思い出になります。また、エッフェル塔に登った

後、緑地であるシャン・ド・マルス公園をのんびりと散歩すると、気持ちがいいです。私にもエッフェル塔は思い出がたくさんある場所です。

エッフェル塔の建設のきっかけは、フランス革命100周年を記念し、パリで行われた第4回万国博覧会というイベントでした。建設は1887年に始まって、1889年3月31日に終わりました。万博に間に合わせるため、速さを優先し完成できました。

私にとっては、エッフェル塔の美しい夜景もまた魅力的です。毎晩、キラキラするので、パリがもっと美しくなると思っております。時々、特別な投光器によるエッフェル塔のライトアップやプロジェクションマッピングがありますので、ぜひいらっしやってください。正月、国際日などという特別なイベントによって、エッフェル塔の色が変わって、非常に綺麗です。例えば、今年、皇太子さまがパリにいらっしやったときは、エッフェル塔は日の丸をイメージしたジャパンカラーに染まり、素晴らしい光景となりました。やはり、エッフェル塔は塔だけではなく、いろいろなことができる場所です。エッフェル塔は皆さんをお待ちしております!



パリのカフェにて

広がる国際交流

～境町の取り組み最前線～

境町男女共同・国際室

○フィリピン共和国マリキナ市との交流



先進英語授業では給食の時間も英語と触れ合います

境町では、平成29年5月にマリキナ市と姉妹都市交流提携協定を締結しました。協定を通じてフィリピンから17名の英語講師を招き、平成30年度から公立の全小中学校で実用的な英語を学ぶスーパーグローバルスクール事業を実施しています。毎日外国人講師による授業が受けられ、小学6年生で英検3級、中学3年生で英検2級合格程度の英語力を目指す全国初の取り組みです。

また、当町で入れ替えとなった消防自動車をマリキナ市へ寄贈するなど相互交流にも取り組み、姉妹都市として友好関係を深めています。

○ハワイとの交流

平成30年9月、日系移民150周年の記念すべき年に、ハワイ州ホノルル市と友好都市協定を締結し



ハワイでの町民などによるフラダンス披露

ました。日本の自治体としては14年ぶり3例目となります。

平成28年2月のハワイ初訪問以来、企業版ふるさと納税制度を活用したハワイ最大級の花火大会開催や町PRイベント、町民によるフラダンス披露など様々な交流を重ねてきました。さらに、ハワイからの来賓が境町の花火大会を視察するなど相互交流を進めており、今後も教育・文化・環境・経済などあらゆる分野で交流を図っていきます。

○アルゼンチン共和国との交流

境町の長田小学校とアルゼンチン共和国は、1933年から80年以上交流を続けてきました。交流を深めるため、平成28年から境町の全小学校から代表を同国へ派遣しています。参加児童は日本語学校訪問やホームステイなどを通して、異国文化を肌で感じています。

さらに平成28年6月に、東京オリンピック・パラリンピックのアルゼンチン共和国ホストタウンに登録されました。平成30年4月には同国選手団の事前キャンプ誘致に向けた覚書を締結し、同国オリンピック委員会が境町のサッカー場等競技施設の視察を行いました。



長田小学校とアルゼンチン共和国の交流



ハワイ州ホノルル市での友好都市協定締結式(左より、コールドウェル市長/橋本町長)

わが町の外国人リーダー



カトリ・チャム・バハドルさん
牛久市在住
(在住歴10年)
ネパール出身

チャムさんをご紹介します

平成21年にネパールから来日したカトリ・チャム・バハドルさんは、現在牛久市でお兄さんと一緒にインド・ネパール料理のお店を営んでいます。本場のカレーはとても美味しく、職場でも毎週ケータリングをお願いしています。地域の中にも溶け込み、皆さんに愛されている彼は、牛久市商工会青年部や牛久青年会議所に属し、各種イベントにも積極的に参画し、地域と外国人住民との間の橋渡しの存在です。

また、市が運営する日本語教室に通い、この秋にN2(日本語能力検定)を取得しました。一生懸命頑張るチャムさんの姿は、教室内の皆に良い影響を与えてくれます。そんなチャムさんを、私たちはこれからも応援し続けます!

牛久市国際交流協会

チャムさんにお聞きしました



消防団訓練
(左がチャムさん)

私はカトリ・チャム・バハドルです。

第二の故郷牛久に住み始め10年経ちました。第一の故郷はネパールです。仕事や友達作り、趣味を叶えるのに鉄の壁になったのは日本語でした。その壁を壊すために出会ったのは牛久市国際交流協会の日本語教室の先生方でした。そこで日本語を学び、お陰様で今快適な日常生活を送っています。感謝の気持ちで一杯です。今は牛久市商工会青年部とJCI(牛久青年会議所)と消防団に所属し、皆と交流を深めようとしています。

ネパールで大震災が起きたときに、牛久市民の方々から大きな支援を受けました。暖かい心で接してくれたことに私は感動しました。日本の人々が持つ、助けてあげて困難な時を乗り越えさせてあげようとする心を世界中の人々も持つようになれば世界平和へつながるのではないかと思います。他の国と違って、日本語が話せなくても受け入れて、その人のために一生懸命努力し教えてくれているボランティアの先生方と、その機会を与えてくれる国際交流協会の日本語教室へみんな積極的に参加し日本語を学びましょう。

日本語で会話できるようになると日本の生活は楽しいぞ!!



ネパール地震支援

YOUNG EYES

上海スタディツアー参加者の声

常磐大学 コミュニティ振興学部 地域政策学科3年 櫻村 理喜

空港を降り立ちバスで外に出ると東南アジアの農村と同じような田舎の風景がバスの車窓から見える。しかし少し進むと風景が変わり大きな電線、工場、マンションさらにはリアモーターカーの線路など近代的な都市と思わせるような風景がバスの車窓から見える。それから1時間弱して上海の中心部が見えてくる。アッと驚くような上海のテレビ塔をはじめとする大きな建物が夕日に映える。町には日本ではほぼ消滅状態にあるトロリーバスが走りレンタサイクルを利用する人も多くいる。そして夜の景色は圧巻だ。1800年代後半に欧米人によって建造された建物が建ち並ぶ外灘地区の夜景と、テレビ塔がある浦東新区の近代的なビル群の夜景はすごくきれいだ。景色や生活は古いものと新しいものが調和をとれた世界で、日本にいただけでは中国に対して環境問題などに目が行きがちだが、行ってみると見える景色は異なり印象も大きく変わる。

スタディツアーで訪問する企業は世界最先端の貿易を

行っている会社、東南アジアや日本に路線を就航させる成長著しい航空会社、上海と日本の歴史を感じることが出来る記念館など様々な企業の方々の話をお聞きし、交流をする機会がある。いろんな方のお話をお聞きすることで、中国社会や中国事情など多角的な面から物事を学ぶことができる。

外国で環境が違うところに行くことにはすごく勇気がいる。しかしながら、これからの日本の社会に出ていく我々が必要なのは、前に一歩踏み出し、海外に出て物事を吸収することだと思う。このスタディツアーが一人でも多くの人が参加し大きな学びになることを願う。



現地学生と上海市内を視察
(左から3人目が筆者)



外灘地区の美しい夜景

広場

ACROSS CULTURE

ここが違って、おもしろい!!

★ ベトナム VS 日本 ○

筑波大学 人文・文化学群 日本語・日本文化 ホアントウックアイントゥー



今年の春に初めて国を離れて太陽の昇る国と言われていた日本で一人暮らしの生活をする事になりました。ベトナムで日本語・日本文化を専攻していた私は、日本のことをしっかり勉強しましたが、日本に来た時に、思ったよりも、驚いたことが多くありました。

まずは、交通についてです。もしあなたがベトナムに行く機会があれば、「どこでも、バイク、バイク、バイク」という印象が一番残ると思います。そして、ベトナムの道路を渡る時に「どうすれば渡れるかな」と悩んで怖いと思うで

しょう。そのため、ベトナムの交通状況に慣れていた私は初めて日本の道路を渡った時にいつもと同じように車に道を譲りました。しかし、車が止まってずっと待っていてびっくりし

ました。日本は歩行者が優先だと発見しました。ベトナムにそういう習慣があれば、交通事故が減るし、外国人が安心してより来てくれると思います。

次に、公共施設についてです。ベトナムでは日本より住む家が広いですが、公園、道路などの公共施設が少なく狭いです。日本には静かな田舎だけでなく賑やかな街にも必ず公園などがあります。私にとって建築物は人間の心が表れるものの一つです。それが気になっていました。日本の街を歩く時に、空間が広くて開かれたまま、四季の変化が明瞭に感じられ、大きい世界に自分が小さくて人生のことを考えさせられるというわびさびの感覚がします。日本人が寛容で忍耐力が強いことは日本の土地のおかげではないだろうかと考えます。

最後に、日本の美しいイメージを大切に、日本の良いことを身につけて、またベトナムに戻る時に学んだことをベトナムの人々に語ろうと思います。



法隆寺にて

地球だより

第二の故郷インド

総合商社駐在員 飯田 和紀(デリー在住)

2017年4月にインド駐在となり、デリー在住も2年目となりました。インドや近隣諸国においてインフラ整備案件を中心にインドの更なる発展に寄与するため、日夜動き回っています。インドと聞くと、実際に訪れたことのない皆さんは、大気汚染、貧困、汚い、臭い、といった、ネガティブなイメージしか浮かんでこないのだろうと思います。インドは、一度訪れ、好きになる人と嫌いになる人が二極化すると言われていますが、私は前者です。出張で訪れた26年前のデリー、ムンバイ、コルカタと比べると、今のインドは相当な発展を遂げています。道路・鉄道、下水などの基礎インフラが、増大する都市部の人口、都市化に追いつかず、交通渋滞、大気汚染、水質汚濁、洪水といった喫緊に解決すべき課題は盛りだくさんで、ネガティブな事も多い一方、大国インドはこれから成長が加速する国の一つであり、大きな夢が描ける国でもあります。日本と比べれば、食材・アルコールの調達など多少の不便さはあるものの、デリーでの生活を公私共に楽しんでおります。

ヨーロッパがすっぽり入る程度の国土面積を持つインド

は29の州からなり、言語・部族・宗教も様々で多様な民族の集合体です。週末など暇があれば、各地を周りインドの理解を深めています。まだまだインド初心者の私にとっては、奥深く、好奇心の増幅が収まらない国であり、過去駐在員として住んだ4カ国の中で、これまで第二の故郷としていたマニラを逆転し、私自身の中では、デリーが第二の故郷と言っても良いくらい気に入ってきました。

デリー着任早々、私の第一の故郷である茨城県で在住・在学・勤務歴のある方々を勧誘し、インド茨城県人会を立ち上げました。インドに関する情報交換、茨城県民の歌を歌ったりと、隔月程度で賑やかに懇親会を開催し、楽しいひと時を過ごしています。今では登録メンバーも60名程の組織となっています。

百聞は一見にしかず。食わず嫌いではいけないと思います。機会を作って是非インドを見に来て下さい。インド茨城県人会の皆様と共に大歓迎いたします。



インド北部ジャンムカシミール州ラダック
インダス川とザシスカル川の合流地点



合気道の朝稽古

県だより

外国クルーズ船が本県に初めて寄港します！

日本の港湾へのクルーズ船の寄港回数は年々増加しており、昨年は2,764回と過去最高を記録しました。特に外国クルーズ船の寄港回数は2,013回と日本へのクルーズ船寄港回数全体の7割以上を占めています。

このような中、本県においても茨城港への外国クルーズ



海外の船会社による視察の様子



知事によるトップセールス

船の誘致に力を入れており、クルーズ船を運航している船会社や寄港地でのツアーを企画している旅行会社等へのPRを実施しています。また、船会社の幹部を本県に招き、港湾や県内観光地の視察を実施した際には、知事のトップセールスにより、本県への外国クルーズ船寄港に繋げることができました。

現在、本県に寄港が決

まっている外国クルーズ船は、米国の船会社が運航している「セブンスー ザ マリナー」「ウエステルダム」「イングニア」「セブンスー エクスプローラー」の4隻になります。このうち「イングニア」は大洗港区に、それ以外の3隻は常陸那珂港区への寄港を予定しています。

特に「セブンスー ザ マリナー」は来年4月に本県に初めて寄港する外国クルーズ船になりますので、「茨城に来てよかった」と感じていただけるよう、市町村や関係団体等で連携しながら、おもてなしをしていきます。

本県は、ネモフィラで有名なひたち海浜公園や歴史ある偕楽園・弘道館など、世界に誇れる魅力的な観光資源を多数有しているほか、広域交通網が充実しているため、県内外への日帰り観光が実施しやすいという強みがあります。そうした強みを活かしながら、今後もより多くの外国クルーズ船に寄港していただき、茨城県の魅力を世界に向けて発信していけるよう、誘致活動を行ってまいります。

(茨城県土木部港湾課 主事 鈴木 秀明)



セブンスー ザ マリナー

「外国人のための 一日無料弁護士相談 in筑西」のお知らせ

12月9日(日)10:00~15:00、しもだて地域交流センター「アルテリオ」(筑西市丙372番地)にて外国人のための弁護士相談を実施致します。

在留資格、労働問題、国際結婚、税金、保険、その他生活全般について弁護士と無料で相談できます。相談時、英語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語、中国語、スペイン語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語の通訳が可能です。秘密は厳守いたします。

弁護士に相談したい外国人の方は、ぜひこの機会をご利用ください。
問合せ先 茨城県国際交流協会 外国人相談センター
TEL029-244-3811

第28回外国人による日本語スピーチ コンテスト発表者を募集しています!

平成31年2月9日(土)13:00~16:30、県民文化センター小ホールにて開催される「第28回外国人による日本語スピーチコンテスト」の外国人発表者を募集しています。県内で生活している外国人の皆さんが、日頃考えていることや、日本・茨城の印象、母国の話など国際理解を深めるテーマについて発表できる絶好のチャン



知事賞 リンダニエル ルイス

スです。出場者全員に豪華賞品を用意しております。たくさんの方々のご応募をお待ちしております。(締め切り12月11日(火)必着)応募方法は協会ホームページをご覧ください。

(<https://www.ia-ibaraki.or.jp/kokusai/event/speech/index.html>)
どなたでもご自由に参観できますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。(入場無料)

「第15回 日本発/世界発: 青年のメッセージ」を開催します

高校生をはじめとする若い世代が、世界に対する理解を深め、国際社会に生きる力と視点を涵養することで世界にはばたき貢献できる人材を育成することを目的として「第15回 日本発/世界発:青年のメッセージ」を開催します。高校生が国際理解・協力に関する自分の体験や考えを日本語で発表し、留学生が自国の紹介や高校生との意見交換を行います。たくさんの方のご来場をお待ちしております。

開催日時 平成30年12月13日(木) 13:00~
場 所 茨城県立図書館 視聴覚ホール
内 容 国際教育弁論大会(高校生のメッセージ)、留学生シンポジウム(留学生のメッセージ)、表彰式

「青年中国上海スタディツアー」参加者を 募集しています

当協会では茨城県上海事務所を拠点として青年中国上海スタディツアーを実施します。ツアーでは、上海事務所職員や中国大学生、日系企業の方々等との交流を通じて日本と中国の文化や考え方の違いを知り、青年の国際感覚を醸成し、世界で活躍する人材の育成を目指します。

ツアー日程 平成31年3月4日(月)~
3月8日(金) 4泊5日
募集締切 平成30年12月中旬頃を予定
募集人数 15人程度
(最少催行人員8名程度)
応募条件 県内の大学生(原則として茨城県在住の方、または県内の大学に通う学生の方)

内 容(予定)
・茨城県上海事務所等から中国事情を学ぶ2Daysインターンシップ
・現地大学を訪問し、日本語を学ぶ中国人大学生との草の根国際交流
・事前研修(旅行社による事前説明ほか)
・事後研修として、ツアーの振り返りを予定
申し込み方法等詳細については当協会HP「新着情報」をご覧ください。
<http://www.ia-ibaraki.or.jp/kokusai/index.html>



インドネシア・スラウェシ島地震被災者 緊急支援義援金について

9月26日に発生した巨大地震と津波による被災者への緊急支援のため、義援金を募集しています。10月14日には、NGO茨城の会やインドネシア人留学生の方々と共に水戸駅南口で街頭募金活動を行い、たくさんの義援金をお預かりすることができました。義援金は引き続き募集していますので、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

なお、お寄せいただいた義援金は、現地で活動するNGO団体などを通して被災者の支援に役立てられます。

募集期間 平成30年12月28日(金)まで
銀行振込先 常陽銀行県庁支店(033) (普通)1154706

口座名義 こくさいきんきゅうきんぎん いばらき国際緊急義援金

※専用の振込用紙をお使いの場合、振込手数料は無料となります。専用の用紙は、常陽銀行県内各支店、茨城県国際交流課、および(公財)茨城県国際交流協会にごあります。



新人紹介



ローラ・ジャン

Bonjour!
フランス・パリから参りましたローラ・ジャンと申します。高校時代から日本文化に非常に興味をもって、もっと詳しくなりたいと思いましたので、イナルコという大学で日本語を勉強することにしました。

パリで生まれましたが、北フランスと南フランスに住んだことがありますので、フランス南北のそれぞれ的美風景と魅力を満喫できることをよく知っています。フランスと日本で違いがありますが両国の共通点も架け橋も存在しています。皆さんに、フランスの見逃せない人気観光スポットをご紹介しますと思いますので、ぜひ積極的に交流しましょう!



セドリック・チャールズ

初めまして、セドリック・チャールズと申します。今年8月から茨城県国際交流課で国際交流員として勤務しております。アメリカ合衆国のボストン州から参りました。子供の頃から、日本の文化や世界中の国際関係に興味を持つようになりましたから、ボストンカレッジで経済と東アジア文化を専攻しました。日本に来るのは初めてですが、大学に通った際の様々な職場での経験を生かして、アメリカの文化だけでなく母国のハイチの文化も紹介し、一生懸命頑張らせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



井坂 実花

はじめまして。10月から総務課で勤務しております井坂と申します。国際交流に直接関わる仕事は、今回が初めてです。様々な国の生活や文化に触れあうことで、新しい価値観の発見があるのではないかと今から楽しみにしています。協会の一員として、早く仕事に慣れ、皆様のお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

Said & Did

第1回クエスト茨城留学生研修を実施しました

7月1日(日)、茨城県への理解を深め、愛着を持って留学生在活を送ることを目的とした留学生向けのバスツアーを実施し、留学生29人が参加しました。今回は、大洗町のワンコインツアーやアクアワールド茨城県大洗水族館見学を実施しました。

ワンコインツアーでは、大洗観光ボランティアの皆さまにご協力いただき、写経体験やカルメ焼き見学等を行いました。また、アクアワールドでは、イルカ・アシカショーや日頃なかなか見ることのできないバックヤードツアーを満喫しました。

バスツアーを通して、地域のあたたかさや日本の伝統文化に触れたり、他の学校の留学生と仲良くなれたり、充実した一日を過ごすことができました。



国際理解教育研修会を開催しました

8月2日(木)、県内の小中学校・高等学校・特別支援学校の教職員、市町村協会、民間国際交流団体、当協会登録ファシリテーターを対象とした国際理解教育研修会を県民文化センター分館集客室にて開催し、45名の方が参加しました。

認定NPO法人開発教育協会事業主任の八木亜紀子氏を講師としてお招きし、「写真で学ぼう!地球の食卓～自分の中の偏見や先入観に気づく」と題してワークショップを体験しました。

参加者からは、「人のもつイメージは偏っている。自分が先入観をもって物事を見ていることに気づいた」「一枚の写真から多くの情報を読み解くことができるので、ぜひ授業に活用したい」等の感想をいただきました。

高校生のための地球市民講座を開催しました

9月19日(水)、独立行政法人国際協力機構筑波センター(JICA筑波)で「平成30年度高校生のための地球市民講座」を開催しました。県内の高校生100名が参加し、青年海外協力隊経験者の方のお話を聴いたり、各国から来た研修員と昼食を交えて交流したりと、充実した一日を過ごしました。



午後は、世界の国々の家族と食料を撮影した写真を読み解くワークショップ、「地球の食卓」を実施しました。今年度は「宗教とその多様性」をテーマに、グループごとに感じたことや気づいたことを話し合いました。高校生にとっては、新たな視点から世界を見つめる良い機会となりました。

茨城ふるさとファミリー事業を実施しました

9月29日(土)～30日(日)に、当協会にて任命している留学生親善大使、ALT(JETプログラム外国人指導助手)を対象に、「茨城ふるさとファミリー事業」を実施しました。今年度は留学生15名、ALT8名の合計23名が、ご応募くださった県内のご家庭(ホストファミリー)宅で1泊2日のホームステイを体験しました。ホストファミリーにとっても、ゲストにとっても、楽しい2日間となったようです。



当協会では随時、ホストファミリーを募集しています。登録の詳細については、ホームページをご覧ください。

国際観光の振興

茨城県を訪れる外国人観光客が年々増加していますが、県は新たな施策※に海外誘客促進の取組強化を打ち出しています。日本での訪問先として、観光地のほか日本人が日常生活を営む場所に多くの関心が集まっていると言われます。地域に外国人観光客が訪れることで、今後身近なところで皆さんが外国語のスキルを生かしたボランティア通訳や、やさしい日本語で外国人を案内する機会があるかもしれません。気軽に国際交流するチャンスにもなると思いますので、ぜひチャレンジしてみませんか。当協会では、昨年度より英語の通訳ボランティアとして観光ガイドを行うための研修講座を実施しています。今年度実施中の研修の様子は今後ホームページやふれあい茨城などでお知らせする予定です。

※茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦～(4年間/2018～2021)答申(原案)における施策

賛助会員を募集しています!

当協会ではより多くの皆様が外国の方々と交流し相互理解を深める機会を提供するために、留学生や在住外国人の方々、交流団体の皆様と連携し、様々な事業を展開しています。さらに充実した活動を行えるよう、支援していただける賛助会員を募集しております。

会員になると、機関紙「ふれあい茨城」の送付、各種イベント等情報の提供、協会施設の優先利用、提携旅行社の割引などの特典があります。

また、賛助会費は、公益法人への寄付として申告により所得税や法人税の優遇措置の適用を受けることができます。

皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

賛助会費	団体会員	1口 10,000円/年
	個人会員	1口 3,000円/年

※賛助会特典、税金の優遇措置の詳細については、当協会HPをご覧ください。

●H30年度 団体会員 (H30年10月末現在) ※敬称略

- | | | |
|---------------------------|--------------------|------------------------|
| 石岡商工会議所 | 神栖市国際交流協会 | 日本語学校つばはスマイル |
| 伊奈工業株式会社 | 韓国語上級講座 | 日本労働組合総連合会 茨城県連合会 |
| 「茨城アジア教育基金」を支える会 | 韓国語中級講座 | ネパール子ども奨学支援会 |
| いはらき印刷株式会社 | 株式会社 関電工 茨城支店 | ハンガリー初級教室 |
| 一般社団法人 茨城県医師会 | 北茨城国際交流会 | ハンサラ |
| 公益財団法人 茨城県開発公社 | 古河市国際交流協会 | 常陸大宮市国際交流協会 |
| 茨城県人災共済協同組合 | 国際ソロプチミストつくば | 日立商工会議所 |
| 茨城県行政書士会 | コスモエコー | 株式会社 ひたななテクセンター |
| 一般社団法人 茨城県経営者協会 | コトギ印刷株式会社 | ピバエル エス/バニール |
| 茨城県市長会 | 下館商工会議所 | 広沢商事株式会社 |
| 社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 | 株式会社 常陽銀行 | ふしの会 |
| 茨城県農工会議所連合会 | 常陽ビジネスサービス株式会社 | フレンドリーあんず |
| 茨城県商工会連合会 | 常陽保険サービス株式会社 | フレンドリージャパンワールド |
| 茨城県女性のつばさ連絡会 | 新日鐵住金株式会社 茨城支店 | 株式会社 ホテルグランド東雲 |
| 茨城県信用組合 | 株式会社 セイキョウ | 水戸内原国際交流ふれあいの会 |
| 茨城県信用保証協会 | 関陽商事株式会社 | 水戸商工会議所 |
| 茨城県青年海外協力隊を育てる会 | センター印刷株式会社 | 水戸信用金庫 |
| 茨城県世界青年コミュニケーションクラブ(WYOC) | 株式会社 高野高速印刷 | 水戸ユネスコ協会 |
| 茨城県中小企業団体中央会 | 株式会社 茨城国際交流協会 | 明秀学園日立高等学校 |
| 茨城県町村会 | 茨城西市国際友好協会 | メサフレンドシップ |
| 茨城県日中友好協会 | チヨツサラ | 株式会社 めぶきリース |
| 株式会社 茨城ポートオーソリティ | 株式会社 筑波銀行 | 特定非営利活動法人 豊かな大地 |
| 鹿嶋国際交流JCサークル | 株式会社 つばは研究支援センター | ラプニール |
| 鹿嶋国際交流さるびあ | 電機連合茨城地方協議会 | ワタヒキ印刷株式会社 |
| 鹿嶋市開発株式会社 | 那珂市国際交流協会 | JA茨城県中央会 |
| 鹿嶋埠頭株式会社 | 日本原子力発電株式会社 | 株式会社 JTB関東 法人営業水戸支店 |
| | 東海事業本部 地域共生部 茨城事務所 | 皆様のご支援とご協力により感謝申し上げます。 |

